

# 平成28年度 自己評価書

学校名

北海道札幌西高等学校定時制

## 1 本年度の重点目標

- 1 生徒の能力・適性に応じた「分かりやすい授業」を研究し、興味関心がわく学習指導を展開する。
- 2 生徒一人一人の個性を尊重し、その主体性を重んじるとともに、豊かな心を育む教育活動の充実に努める。
- 3 進路目標の実現に向けて、計画的な進路指導の充実を図る。

## 2 自己評価結果

評価項目	指標・結果等	達成状況	取組の適切さ	今後の改善の方策
学習指導	<b>【指標】</b> 生徒実態アンケート調査の設問「授業の内容をどの程度理解していますか。」において、①「ほとんど全てがわかる」と②「7割くらいわかる」の合計が50%以上 <b>【結果】</b> 5月46.2%、11月30.8%	2.6	2.8	・生徒の実態を踏まえ、個々の生徒の能力に合わせて達成感を味わわせる指導方法について研究する。 ・各教科で行っている工夫の共有や、授業研究に取り組むなど、校内研修の充実を図り、教員の指導力の向上に努める。
生徒指導	<b>【指標】</b> 毎月のライントラブルが0(ゼロ) <b>【結果】</b> 年間を通して1件のトラブルが発生	3.0	3.1	・各HRや集会時における指導や、SNSの使い方に関する標語コンクール等への応募、外部講師を活用した講演会の実施など、あらゆる機会を捉えた指導の充実に努め、生徒の心に届く指導を継続的に実施する。
進路指導	<b>【指標】</b> 進路未決定者数をゼロとする。 <b>【結果】</b> 進路未決定者数はゼロである。	4.0	4.0	・キャリア教育の全体計画に基づき、進路相談員などの外部人材を積極的に活用しながら、低学年から生徒の進路実現に向けた意識を高める取組を充実させるなど、計画的な進路指導の充実を図る。

### 【評価基準】

※ 4:十分である 3:ほぼ十分である 2:やや不十分である 1:不十分である

## 3 次年度以降の目標設定等に反映させる自己評価結果及びその改善方策事項

・次年度については、個々の生徒の学習の定着度に大幅な開きがあることに配慮して、「指標」を授業における達成感に関わる内容にすることを検討するとともに、教員の指導力の一層の向上に向けて、教員研修体制の充実を図る。

### 【生徒指導】

・次年度については、SNSの使い方にも通じる、他者とのコミュニケーション能力の向上に向けた指導を充実させ、生徒の変容を確認することができるよう改めて「指標」を検討するとともに、引き続き、SNSの使い方の指導についても継続する。

### 【進路指導】

・次年度についてもすべての生徒の進路実現に向けて同様の重点目標とするとともに、低学年からのキャリア意識形成に向けたアプローチの充実など、キャリア教育の一層の充実を図る。